

荒尾市桜山小学校の保護者や校区住民が27日、児童

保護者や住民がマスク

荒尾

桜山小に贈る 児童への思い込め



池田校長にマスクを渡す本戸会長(左から2人目)ら

のために作ったマスクを同校へ贈呈。子どもたちに元気に過ごしてほしいと願いを込めた。

マスクが品薄になっていくことから、PTAの本戸伸和会長が手作りできないかと執行部に相談。熊本県から同市へ届けられていた布を使って作ることにになり、執行部に校区民も加わって8人で作業。ゴム作り、裁断や型抜き、ミシン作業と役割を分担して大中小合わせて89枚を作った。3人の子どもが同校卒業生という校区在住の夫婦も学校に恩返しをしたいと協力を申し出て、300枚を製作した。

この日は本戸会長、執行部の池田由紀子さんと田中なつみさんが同校を訪れ、池田健一校長に計389枚のマスクを渡した。登校再開日の5月7日に児童へ配布することになっている。「新型コロナウイルスの影響で休校になり、学校が始まるのを楽しみにしている子どもたちへの保護者、校区民の思いやりを形にし

ふるさとのお菓子
かすてーら 饅頭
おみやげにどうぞ
金賞受賞

茶舗 だいふく
本店 大牟田市有明町2-1-3 ☎53-3333

「たかった」と本戸会長。池田校長は「本当にありがたい。子どもたちには皆さんの思いに応え、元気に過ごしてもらいたい」と話していた。(高本 明)